

# 研究結果報告書

## 研究結果

### 「中国中間富裕層と在中日本人コミュニティとの交流から見た新しい日中関係 青島日本人社会の事例から」

本研究は、青島市における日本人社会の実態および青島を舞台に活発化される中国人と日本人との交流から、経済のグローバル化が進む中で下から積み上げられる、従来とは異なる新たな日中関係の一側面の可能性の検証を研究目的とした。

1990年代初頭から青島市には日本企業が多く進出し、それに伴って日本企業の駐在員やその家族、留学生など多く生活するようになり、現在の青島日本人社会の形成に一翼を担う集団へと成長した。1990年に「日本人会」を立ち上げた在青日本人は、

わずか20年という短い時間に青島で学校を設立したり、その活動を地域社会との文化交流や地域の開発、日本への観光客の誘致といったレベルへと展開しており、ホストビジネス社会と深くかかわるなど、永住志向とは無関係に地域社会への顕著な影響力を示している。青島における日本人の影響力は中国人パートナー層の増加からも伺える。日本人と地域社会を結ぶ役割を果たしている存在としての中国人パートナーは大まかに三つの層に分けられる。まずは、在日留学経験者である。比較的親日である彼らの中には在青日本人の仕事、文化、生活と密接な関係のある分野で活躍している人が多い。もう一つは、日本食関連の飲食業経営の中国人である。これらの飲食店は中国版の和食とはいえ、地域社会の人に日本文化を体験させる一つの空間となっており、これらの飲食文化を通じて日本文化がローカルレベルで静かに広がっている。また、日本の駐在員の中にはホストビジネス社会と深く関わることで地域の実質上のリーダーシップともパイプを持ち、しばしば影響を与えることもある。

こうした研究から在青島日本人たちはビジネスだけではなく、地域社会の文化などにも強い影響力を持っており、こうした文化・経済交流が両側の政治プロセスに影響を与え、それを連動させるものと考えられる。すなわち、このような社会的関係が新しい日中関係構築の推進力ともいえよう。

### 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1. 「中国中間富裕層と在中日本人コミュニティとの交流から見た新しい日中関係  
青島日本人社会の事例から」, 李勁松, 第二回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム, 2011年8月23日, 吉林省延吉市延辺大学.
2. 「中国中間富裕層の消費志向から見た新しい日中関係の可能性 - 尖閣島問題発生後の日本への観光を中心に」, 李勁松, 北東アジア地域文化交流及び平和発展国際シンポジウム, 2011年10月21日, 西安市西安交通大学

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

1. 「青島における日本人社会の形成と日本人会の役割」, 李勁松, 『第二回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム論文集』, 2011年12月発行（中国）.
2. 「北東アジア共同体構想の行方 地域の視点から」, 李勁松, 『北東アジア論壇』（中国）, 2011年9月投稿中.
3. 「日本への観光に見る中国中間富裕層の日本観 - 尖閣島問題発生直後を中心に」, 李勁松, 『東アジア研究』, 2011年12月投稿予定（日本）.

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）